

第19回九州前方後円墳研究会開催要項

1 テーマ 『九州島における古式土師器』

2 主旨

今回のテーマは、「九州島における古式土師器」です。九州島における「古式土師器」の成立を地域単位で検討し、各地域における在来系土器群の特色と外来系土器の受容と展開を整理します。また、九州島内における「古式土師器」の地域間の影響関係についても検討します。取り扱う資料は、各地域における弥生時代終末期から古墳時代前期末の一括性の高い資料を主要な検討対象としますが、直後の古墳時代中期初頭の資料についても言及するようにします。

まず、九州島内での弥生時代から継続して存続する、各地域の在来系土器群の消長を整理していただきます。そして、伝統的V様式系・庄内式系・布留式系・山陰系(東九州などでは西部瀬戸内系も)といった九州島外からの外来系土器がどのようにして受容され、そして変容し、展開したのか、この点を中心に各地域の土器群を概観していただきます。また、いわゆる「畿内系」を主体とする典型的な「古式土師器」の各地域における成立と、各地域の「古墳」の成立時期が同時的なのか、時間的ズレがあるのかについても現状の見通しを整理する予定です。

基調講演として富山大学の次山 淳氏に、西日本、特に畿内・瀬戸内海沿岸域・北部九州における弥生時代終末期(今回は庄内式期併行期とする)から、古墳時代前期末にかけての土器の変遷を比較しながら、その相互の影響関係や併行関係を概観していただき、さらに学史的な検討も踏まえながら、西日本全体から見た、九州島の「古式土師器」の特色を整理していただきます。

3 主催 第19回九州前方後円墳研究会実行委員会

4 共催 雲仙市教育委員会

5 後援 長崎県考古学会・長崎県教育委員会

6 日時 平成29年1月21日(土)・1月22日(日)

7 会場 雲仙市国見町文化会館「まほろば」多目的ホール(定員400人)

雲仙市国見町土黒甲1079-1(最寄り駅は島原鉄道「多比良」)

※有明フェリー多比良港から車で5分。

8 日程 第1日(1月21日)

12:30 [総会]

13:00 [開会あいさつ] 代表幹事、雲仙市教育長

13:05~14:05 [基調講演]

(仮称)西日本における古式土師器

次山 淳氏 (富山大学)

14:10~ [地域報告]

福岡地域 久住 猛雄(福岡市)

15:00~ 休憩(10分)

15:10~ 筑後川以南 檀 佳克(八女市教育委員会)

15:50~ 豊前・豊後 小野 綾夏(大分市教育委員会)

16:30~ 日向 河野 裕次(宮崎市教育委員会)

17:10~ 一日目閉会

日程 第2日(1月22日) 午前9時開場

9:10～ [地域報告]

大隅・薩摩 松崎 大嗣(指宿市教育委員会)

9:50～ 熊本平野 入江 由真(熊本市教育委員会)

10:30～ 休憩(10分)

10:40～ 肥前西部 馬場 晶平(佐世保市教育委員会)

11:20～ 佐賀・唐津平野 蒲原 宏行(佐賀県立博物館)

12:00 昼食

13:00～14:50 [討論会] 「九州島における古式土師器の再検討(仮題)」

14:55 閉会あいさつ 次回開催地の代表者、代表幹事

9 問い合わせ先

○ 大会運営関係

〒859-1401 長崎県島原市有明町湯江甲 1006 野澤方 竹中 哲朗

TEL 0957-68-5538 (FAX 兼用) 携帯 080-5245-9023

○ 参加等申込先: 雲仙市歴史資料館 国見展示館 村子

TEL/FAX: 0957-78-2334 (別紙申込書利用ください)

● 雲仙市内最寄りの宿と最寄り駅

観月荘 国見町多比良乙93 電話 0957-78-2027 島原鉄道「多比良駅」末

広旅館 国見町神代乙 370 電話 0957-78-2716 島原鉄道「神代駅」松栄

国見町神代乙 349 電話 0957-78-2719 島原鉄道「神代駅」ホテルAZ長

崎雲仙店 瑞穂町古部乙 10-9 電話 0957-77-4401

島原鉄道「古部駅」

● 公共の宿

遊学の館 国見町神代丙 1230-1 電話0957-78-3344

みずほすこやかランドふれあい会館 瑞穂町西郷辛 621-8

電話0957-77-4111